

授業科目名	子どもと情報メディア	科目コード	K0404L03
英文名	Children and Information Media		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 情報化対応
------	------------------------

職名	教授 教授 教授	担当教員名	彼谷 環 松山 友之 大藪 敏宏
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	2限目
開講時期	4年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>子どもにとって身近な情報メディアである新聞やTV、インターネットと情報倫理との関係を学ぶとともに、教育現場における情報機器の活用法についても学ぶ。新聞を用いた授業（NIE）では、教材としての新聞を素材にした議論のあり方と、記事を読み解くメディアリテラシーの向上を図る。また、近年学校現場では、ICTを活用した授業が展開され、プログラミング教育も導入されることから、新たな技法の習得も目指す。くわえて、依然として問題視される「ネットいじめ」やネット犯罪にも焦点を当て、「子どもの権利条約」の精神に根ざした授業を展開する。 （大藪・中・高等学校教諭の実務経験あり、松山：中学校教諭・小中学校教頭の実務経験あり）</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	メディアリテラシー	ICTの活用	NIE	新聞	プログラミング学習
-------	-----------	--------	-----	----	-----------

到達目標	<p>さまざまな情報メディアがあふれる今日、適切な情報を適切な手段で獲得し、日常生活や教育現場で有効且つ適切に活用できることは重要なリテラシーである。授業では、新聞、TV、インターネット、携帯などの様々な情報メディアを対象として、メディアとそこから得られる情報の適切な取り扱いについて学び、情報活用のための判断力を養うことができる（70％）。</p>				
	<p>学校現場で活用できる新たな情報機器についての技術と指導法を習得することができる（30％）。</p>				

卒業要件・資格関連等					
------------	--	--	--	--	--

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）		教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）		
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養		4.子ども育成の研究		

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイドランス(彼谷) 現代における子どもと情報メディアとの関わり	
	【予習】現代の子どもを取り巻く情報トラブルについて調べておく。	30分
	【復習】学校教育機関で求められている情報教育の内容と課題について考えてみる。	60分
第2回	教材としての新聞(大藪) NIEの意義	
	【予習】新聞を紙版で読み、教材になる新聞記事を探す。	30分
	【復習】授業中に出てきた専門的用語等について辞事典で調べて授業を振り返る。	30分
第3回	新聞と公論(大藪) 新聞を読んで議論しよう	
	【予習】新聞を読み、自分の意見をまとめて議論を構想する。	30分
	【復習】授業中に出てきた専門的用語等について辞事典で調べて授業を振り返る。	30分
第4回	アナログメディアとデジタルメディアの違い(大藪) メディアリテラシーの観点	
	【予習】アナログの新聞とネット上のニュースとの双方をよく読んで、双方の違いを見つける。	30分
	【復習】授業中に出てきた専門的用語等について辞事典で調べて授業を振り返る。	30分
第5回	NIEによる人間社会理解(大藪) メディアリテラシーの重要性	
	【予習】複数の新聞を読み比べることで、記事の違いを発見する。	30分
	【復習】新聞におけるアナログメディアとデジタルメディアの違いとNIEの課題について、レポートをまとめる。	180分
第6回	授業に活かすNIE(大藪) NIEの実践例と模擬授業	
	【予習】NIEの実践例を調べて、模擬授業の指導案を構想する。	30分
	【復習】授業中に出てきた専門的用語等について辞事典で調べて授業を振り返る。	30分
第7回	知的財産権(彼谷) 著作権・特許権・肖像権 拡大する人権 (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)	
	【予習】教育現場で関連する著作権の種類について調べておく。	30分
	【復習】最新の著作権法のポイントをまとめる。	60分
第8回	情報倫理(彼谷) ネット社会のなかで考えるマナーとセキュリティ (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)	
	【予習】SNSが介在する学校で生じ得る具体的問題をあらかじめ調べておく。	30分
	【復習】文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」について整理する。	60分

第9回	プログラミングの実践（外部講師・高専での実務経験教員） 学校現場での先進的事例に触れる。	
	【予習】学校におけるプログラミング教育の在り方について、学習指導要領等で調べておく。	30分
	【復習】実際の学校現場のプログラミング教育の実践をもとに、どのような授業を実践すればよいか考えをレポートにまとめる。	60分
第10回	学校における思考ツールの活用と授業（松山）	
	【予習】学校で活用されている情報メディアや思考ツールについてどのようなものがあるか情報収集する。	30分
	【復習】授業での情報メディアや思考ツールの活用についてレポートにまとめる。	60分
第11回	ICTの活用と情報メディアの効果的な利用及び学習環境の整備（松山）	
	【予習】学校におけるICTの活用について発表できるように先進校の（携帯電話、タブレット、電子黒板）取り組みを調査する。興味のあるテーマに関して画像を撮影してくる。	60分
	【復習】学校で授業を行う場合のICTの活用について携帯電話、タブレット、電子黒板を利用した授業の計画を立てる。	60分
第12回	学校におけるタブレットの活用とこれからの授業（松山）	
	【予習】タブレットの活用について、先進校の取り組みを調べる。授業の計画でタブレットを効果的に活用できる画像や動画を撮影してくる。	60分
	【復習】タブレットを活用した授業について調べたことをもとに授業での活用法について考えレポートにまとめる。	60分
第13回	プログラミング教育の現状とこれから、情報リテラシーとスクラッチなどの活用（松山）	
	【予習】スクラッチをパソコンに導入する。基本操作に慣れる。	60分
	【復習】スクラッチを使って、簡単なプログラムを作成し、プログラミング学習での活用についてまとめる。	60分
第14回	情報教育に関する情報メディアやツールの活用とコミュニケーション能力の育成（松山）	
	【予習】情報をメディアやツールをどのように活用しているか、発表できるように情報教育の先進校の取り組みなどを調査する。	60分
	【復習】得られた情報をもとにコミュニケーション能力の育成に関してレポートにまとめる。	60分
第15回	「子どもが選ぶニュース」とSDGsとの関係性の発見（彼谷）	
	【予習】「子どもたちが選ぶニュース」を想定し、あらかじめ選んだニュースの概要を児童生徒に説明できるよう準備する。	30分
	【復習】子どもたちの未来をどうデザインしていくか、海外の例も参考に自分の意見をまとめる。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 及び では、授業中の積極的態度（50%）、授業中に指定する課題を中心に評価する（50%）。          人間性：50%、 専門性：50%          評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	必要に応じて参考書・プリント・文献等を提示する。	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	<p>日々新聞に目を通し、時事問題に対する自己の意見を構築できるようトレーニングしてください。          学校におけるICTの活用などの情報を収集しておいてください。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーで対応</p>		
オフィス・アワー	<p>授業終了後</p>		